

なかつか 亮



今年10月から

住民税「年金天引き」

高齢者のくらし奪う政治はやめよ

日本共産党

今年10月から、65歳以上の年金生活者は住民税が年金から天引きされることをご存知ですか。これは昨年11月の品川区議会で、自民、公明、民主ら与党が賛成し、成立した条例によるもの。介護保険料、医療保険料に続き、住民税も天引きとは。高齢者はトリプルパンチです。共産党は「高齢者の生活実態を無視する、強制徴収はやめるべき」と反対しました。

わずかな年金からも天引きとは…

自民・公明政権による高齢者控除廃止や非課税世帯の縮小などで高齢者は大増税。これをさらに年金天引きとは、高齢者いじめもひどすぎると思います。高齢者からは「わずかな年金からも天引き。将来の税金を支払うために、年金を掛けてきたわけではない」と怒り心頭。「6月に区からお知らせがあったが良く解らない方が多い

のでは。10月になってみんな驚くと思う」と話します。



いつ決まったの？

この住民税天引きは、昨年11月25日の区民委員会でも条例改正が審議されました。

品川区は「徴収の効率化」「滞納が発生しない」と説明。公明区議は「どういう形であれ、税金はちょうだいする」。民主区議は

「賛成です」とのみ発言。「やめるべき」と反対したのは共産党だけでした。

品川区の都京だけで、年金から天引きとは間違っています。生活が厳しい月など、分納による支払い方法も奪うとは許せません。

この条例改正に賛成した区議は区民にどう説明するのでしょうか。

私は容赦ない年金天引きはやめるべきだと思います。

なかつか 亮



高齢者いじめの政治は退場だ！

実現

大井町駅前「新阪急ホテル」

障害者用のトイレ・客室が 使いやすく改善されました

気持ちよく使ってほしい

大井町駅前で建設中の「新阪急ホテル」。7月30日、区役所にて建設主のアーブズイン阪急と障害者4人十なかつか亮がバリアフリーについて話し合いを行いました。

今回で2回目となる話し合い。前回だされた要望について、阪急の代表者は「だれもが気持ちよく施設

新阪急ホテルの計画図（説明会の配布資料より）



1～3階に障害者トイレ。2階に授乳室併設

を使ってほしいと考え、できる限り設計を変えました」と挨拶。改善された新しい図面が説明されました。

使いやすくなりました

改善が実現した主な点は次の通りです。

①施設のバリアフリー（車いす移動可能）

②障害者用トイレが計3カ所設置。トイレの入り口は自動ドア化に。2階には隣に授乳室も設置。

③障害者客室内の移動スペース確保。ベットや室内お風呂の改善などです。

障害者客室の個数増は検討課題となりました。

参加者からは「改善して頂き、ありがとうございます。障害者が使いやすいホテルは、高齢者も利用しやすいホテルです。これから高齢者はもっと増えるし、

孫の顔を見に東京に遊びに来た時に、駅前の阪急ホテルが高齢者に使いやすく、しかも安い料金となれば、みんな安心です」と。阪急は「料金設定は検討中ですが、基本的には従来通りの安価にしたいと思います。施設の改善箇所がありましたら、今後も教えて下さい」と話しました。

今後は、客室やトイレの備品の配置、ボタンの位置や高さなど、工事の進捗状況を見て、現地で確認する事になりました。

第一期工事（左側及び中央建物）の完成は、2011年4月。第二期工事（右側建物）は2014年6月を予定しています。

障害者や高齢者の声を届け、みんなに優しい街づくりに向け、がんばります。

なかつか亮

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月11日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**